

Question | 政治

1 —— 「政治」と聞いた時、

どんなものを思い浮かべますか？

2 —— 小学校〜高校までに学んだ「政治」について、

印象に残っていること、記憶していることを教えてください。

01 遠いところで私たちのことが決められる絶望

1 政治。それはときに私たちの手から遠く離れたところで私たちのことを決める絶望である。小学6年の秋、テレビの中では安保法案に反対する人々が国会前を埋め尽くしていた。国民に理解してもらおうという姿勢すら見せない冷徹な政治の姿を私は目の当たりにした。政治。しかしそれはときに私たちはもつとよく生きていいのだと実感させてくれる希望である。不均衡に与えられた力を是正するために使われる権力はあつて良いのだと。

2 高校の公民の授業で、日本における政策決定過程を扱った。自民党には各省庁に対応する部会が存在し、予算や法案の審議がなされる。部会を通過し総務会にて了承された予算や法案には党議拘束がかけられる。日本政治の重要な部分は私たちの知らぬ間に党内部で審議が終わっていたのである。私にとって政策の審議とは（唯一）テレビ中継される予算委員会での与野党の攻防だったが、それは政治の極めて限られた一面に過ぎないことを知った。

選挙権を得てから、これまでに3回、投票立会人を務めている。選挙戦の熱気が鎮まる投票日、厳かに投票が実行されている現場を目の前にし、当たり前のように当たり前でない私たちが持つ権利のありがたみを痛感するのである。

sakamon / 21歳 / 男性

02

投票するたびに面白くないと感じる

1 海外では政治家自身の信条や個人の物語が政治自体を動かす瞬間が多い印象を受けます。数年前になりますが、米下院議員のアレクサンドリア・オカシオ・コルテスが行ったスピーチがバイラルになっていました。しかし同時に、役者が変わっただけでシステムそのものは大した変化がないように思います。

2 投票をするたびに感じるのがその面白くなさです。自分の応援する候補を追いかけるのは楽しいですが、実際の行い自体は非常にシンプルで名前を書くだけに過ぎません。せっかく手に入れた権利ならばもっと楽しくより多くの人が参加したくなるような仕組みにできないか、いつも考えています。

ぐっち / 21歳 / ノンバイナリー

自分の立場の中で能動的に接している

1 ニュースで流れてくるような国会議事堂の外観や、スーツ姿の国会議員が居並ぶ様子を思い浮かべました。また、「政治力」や「社内政治」「政治的駆け引き」といった言葉のように、集団や組織の中で利害調整して立ち回ったり、人間関係を作り出すようなイメージも思い浮かべました。

2 正直なところ、高校までは「政治」に関して特に印象に残ることはありませんでした。選挙権を得て社会人になり、仕事などを通して社会と関わっているという実感を持つことで、社会をより良い方向にいくための「政治」にも関心を持つようになりました。また現在、フリーランスで仕事をしているため、そのような立場に関する情報（フリーランスのための権利や法律、働き方など）に、能動的に接するようになりました。

匿名／26歳／男性

腐敗を思い浮かべる

1 腐敗を思い浮かべます。東京で作曲家として働いていた時、理解のできない配分がされた、相場の何倍もの製作費を受けて音楽製作に関わりました。また、地方の入札では第三セクターの審査員に対しての接待によってやる気のない企画が採択され、制作を行いました。私は、当時その状況に加担しました。

どんな業界にも腐敗はおそらく存在しますが、主導していたのは50代以上のおじさんたちでした。

時が解決すると信じています。

2 公民の授業で憲法や選挙制度、三権分立、議会の仕組みなどを学んだ記憶がありますが、授業を受けるうちに政治がめんどくさく、小難しいものだという印象を受け、次第に興味が冷めてしまいました。

選挙権を得た年に、有権者として初めて公約をチェックした際、自分の住んでいる地域では若者にとって魅力的な候補者がほとんどいないことに驚きました。ほとんどの

候補者の方が、第一に高齢者の社会保障を公約に掲げていました。そのため、一番マシだと思っ候補者に投票しました。私の地域は高齢者が多く、若者の投票率も低い現状があるため、選挙の仕組みや教育を変えていけない限り何も変わらなないと感じています。

安部和音／26歳／男

128

32

おじさんたちがやってる何か

1 おじさんおじいさんたちの顔。ボーイズクラブ。ぎとぎとの脂。握手。背中をたたいて含み笑い。戦争好き。女が入り込む余地などないんだというふうな内輪感。書いて悲しくなってきた。せめて男女半数になり女たちが声を上げることができれば、戦争なんてさせない政治をするだろうな。

2 社会科学資料集の三権分立の図しか思い出せない。とにかく実生活と結びつかず、勝手に偉い人（おじさんおじいさん）たちでやってる何かで、縁遠い感じ。選挙権を得てからは選挙のたび、人権を守る政策を掲げている人に入れるべくノリノリで投票に行くけれど、自分が票を入れた人はなんでなかなか当選しない。「死票になるからどう考えても安泰な人に入れたら？」と言われることが今でもある。選挙権も被選挙権も得て立候補もしたけれど、政治はまだまだ勝手に偉い人たちでやってる何かのままてくやしい。

なりさ／26歳／she/her

129 — 政治

関心を持たず、他人任せになっている

1 自分たちがより良い日々を送るために、有権者としてある程度の政治の知識を得る必要がある、と頭でわかっているけれども「他の誰かがするだろう」という他人任せな思考になってまともに接する機会がなかったもの。

2 民主主義や議会の成り立ちなど浅い部分しか学ばなかった印象。「政治」に関しての詳細や深い内容に触れなかった。そのためと責任を転嫁するのもあれだが、選挙権を得てもあまり政治に関心を持たず投票も数える程度しか行っていない。また、私の地域では婦女暴行で捕まった「スーパークレイジー君」という市議がいた。選挙では「おもしろそうだから」という理由で彼に投票する知人が多くいた（面倒だと投票にすら行かなかつた私よりマシかもしれないが）。彼らは（私を含めて）政治に対して興味がなく、たまたま目についたイロモノのような彼に投票していた。結果、件の彼は捕まわり1年も経たずに辞職した。候補者の人となりを多少でも調べる必要があると感じた。

クチダケオ／28歳／男

政治について声を上げていいと知りたかった

1 個人の日常生活に直結しているのにもかかわらず、社会の中や集団に溶け込んで生きていたり、日々の忙しさに追われていると、「政治」という言葉自体がどこか遠い、自分とは関係のない存在のように感じてしまうことがあります。今私たちが生きているこの社会は、政治について考える余地がある場所と言えるのでしょうか。

2 むしろ子どもの時に政治について一体何を学んだらう、というのが一番最初に思いつく答えです。社会の授業で勉強したことも、全てテストで良い点を取るための暗記のひとつに過ぎなかつたように思います。私は小学校入学から高校卒業までの12年間、ゆとり教育を受けさせられたいわゆる「ゆとり世代」と真ん中なので、自分より下の世代や今の10代の方々が「政治」についてどのような教育を受けているのか、とても興味があります。政治についてもっと声を上げていい、批判して、何なら怒ってもいい、私たちにはその権利があるということをもう少し早く知っておきたかったと思います。

選挙に関して、後悔していることがあります。私は初めて得た選挙権で、選挙に行きませんでした。選挙に行かない理由でよく挙げられるであろう「私の一票では何も変わらないから」というのを言い訳に、私は選挙に行きませんでした。女性たちが長い間得たくても得られなかった権利であり、今もなおこの国に住む多くの人が投票権を得られていない中で、私はそれを自らドブに捨てました。できることなら当時の自分に会いに行つて投票用紙で往復ビンタしたいくらいの気持ちなのですが……。見かねた家族に次の選挙に連れられ、投票箱に一票を投じた時、初めて自分が直接政治に関わったんだ、と心の底から実感が湧きました。それからは毎回必ず選挙に行き、投票しています。選挙結果を見るたびに心が折れそうになることもありすが、政治について小さなことでも話せる仲間が年々増え、選挙はますます私にとって大事な社会運動のひとつになっていきます。私の一票にも、みなさんの一票にも、等しく意味があります。私はこれからも選挙に行き、投票し続けます。

平石萌／29歳

45

政治に流されている感覚がある

1 ターゲットを絞るのが大変そう。どこか他人事。

2 歴史的な条約や国際的な問題を多く取り上げていた印象。国内の派閥や党ごとの特徴についてはあまり取り上げられず、自主的に調べるきっかけや日本の政治に自ら参加する意欲は湧き立たなかった。どこか他人事のように捉えてしまっていました。選挙権を得てからも日本社会の現状を全体的に把握することが難しく誰を推薦していいかわからなくなる。誰かと話して考える場面がないので、みんながどう考えてどう投票しているのか知る機会がないので色んな人の考え方を知りたいなと思う。実際に選んでも、掲げた目標通りにすぐ動けるわけではないので、結局は受け身で「まあ、今の世の中仕方ないか」と深く考えずに払うものを払って、自分自身の損得はあまり考えずに政治に流されている感覚。

チヨロQ／29歳／女